

発表会に関する小委員会報告

1. 目的と意義

教育デザインフォーラムは、横浜国立大学大学院教育学研究科1年生の必修・コア科目である「教育デザイン」の授業の一環として行われ、研究成果の発表の場でもある。専門領域ごとに、2回の発表の機会を設けている。参加者は自身とは異なる専門領域の研究発表も聞くことができることから、専門領域を超えた多様な研究内容を学ぶことのできる貴重な機会である。

2. 日 時

平成29年6月18日(日) 16:00～18:00

第一発表: 16:00～16:45

第二発表: 16:55～17:40

3. 会 場

横浜国立大学 教育学部 講義棟7号館

4. 発表内容

次頁以降に記載されたとおりである。

5. 発表の実施形態

平成23年度から基本的には同じ実施形態をとっている。司会進行は学生が行う。なお、昨年度より、各発表の後に参加者との交流の時間を設けている。

1 タイムスケジュール: 専門領域ごとに第一発表と第二発表の2回の発表を行った。時間配分を、発表20分、質疑応答10分、参加者との交流15分とした。なお、第一発表と第二発表のテーマは、異なってもよいことにした。

2 発表方法: ポスター発表形式である。A1サイズ

大学院運営委員会教育デザイン小委員会
橋本 ゆかり・小川 昌文・渡辺 邦夫

のポスターに発表内容をまとめることを基本とし、それに基づいて発表を行った。

3 発表資料: レジューメ等を用意し、参加者に配付した。

6. 成 果

昨年同様、大学院説明会実施後に開催したため、多くの一般の方の参加があった。本研究科への進学を考えている参加者にとっては、どのような研究が行われているのかを具体的に知り、かつ院生との交流に参加することで特色を捉えるよい機会となった。

発表者は、学際的な発表の場を経験することで、研究を深化させることができたのではないかと考える。また他領域の学生や一般参加者からの質問を受け、多角的な視点を学ぶとともに、新たなアイデアを得た者も多いであろう。発表者および参加した院生は、本発表会で学んだことを修士論文に向けた研究に生かすことが期待される。

7. 発表会の今後の課題

昨年度に引き続き、大学院説明会直後に開催したため、一般の方の参加があった。本研究科で行われている教育や研究内容、さらに各領域の特色を理解してもらうよい機会となった。今後もこの形で行われることがよいのではないかと考える。

なお、発表はポスター形式と決まっているが、聴衆が着席しているところが多く見られた。どのような発表形式が一番有効であるかについては検討の余地がある。